

## 令和 2 年 7 月豪雨災害に係る検証項目

新は H30 年 7 月豪雨災害検証との比較

## 新 テーマ 1 コロナ禍における避難所運営、災害ボランティア等の受入

→小山准教授、栗田コーディネーター

- (1) 避難所における感染防止対策 【危機管理部、健康福祉部、商工労働部】  
 ※感染防止対策徹底に伴う収容人数減少
- (2) 災害ボランティア等の受入等 【危機管理部、総務部、清流の国推進部、健康福祉部】
- ① 災害ボランティアの受入体制  
 ※市町村域に限定したボランティアの受入
- ② 応援職員・リエゾンの派遣、受入対応  
 ※他県から熊本県への応援職員の感染

## テーマ 2 実効性のある避難・情報提供のあり方

→高木教授、吉野准教授、小山准教授、村岡特任准教授

- (1) 避難情報の発令タイミング 【危機管理部、県土整備部】  
 ※ 飛騨川の水位上昇（下呂市）、バックウォーター現象（白川町）  
土石流（郡上市）、地すべり（恵那市・土岐市）  
 ※大雨特別警報に準じる気象現象に係る情報の伝達・活用
- (2) 避難情報発令後の住民の避難行動 【危機管理部】  
 ※気象情報発表エリア見直しの検討状況  
 ※コロナ禍における住民の避難行動への影響  
 ※「災害・避難カード」作成地域における住民の避難行動
- (3) 高齢者、障がい者等災害時要配慮者への対応 【危機管理部、健康福祉部、県土整備部、県警察】
- ① 避難行動要支援者への避難に関する対応
- ② 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定  
 ※熊本県内の高齢者福祉施設の浸水
- (4) 多様な情報伝達手段の確保 【危機管理部、広報課】
- ① 行政による住民への避難情報の提供手段  
 ※深夜・夜間における避難情報の伝達
- ② ローカルメディアによるきめ細かな情報提供  
 ※L字放送、河川水位のリアルタイム映像の提供

## テーマ 3 災害応急・復旧対策

→能島教授、高木教授、小山准教授

- (1) 孤立集落への対応 【危機管理部、県土整備部、林政部、県警察】
- ① 通信手段の確保、水・食料・生活用品等の確保  
※別荘居住者等の孤立情報の把握
  - ② 孤立集落へ通じる道路の確保
  - ③ 迂回路として機能する林道
- (2) 断水・停電時の対応 【危機管理部、健康福祉部、都市建築部】
- ① 応急給水対応及び応急復旧対応
  - 新** ② 電力復旧対応
- (3) 公共交通不通の際の対応 【都市公園整備局、環境生活部、教育委員会】
- ① 鉄道の復旧事業に係る連絡調整
  - 新** ② 通学困難者に対する学習機会の確保
- (4) 被災者支援対策～局地的な災害、ピンポイント被災に対する支援  
【危機管理部、環境生活部、都市建築部】
- 新** ① 被災者生活再建への支援
  - ② 災害廃棄物の円滑・迅速な処理
- 新** (5) 文化財の被災への対応 【県民文化局】  
※天然記念物（瑞浪市）の大スギの倒木
- (6) 風評被害など観光への影響 【観光国際局】

## テーマ 4 事前の防災対策

→神谷教授、沢田教授、原田准教授

- (1) これまでの防災対策とその効果 【県土整備部、農政部】
- ① 事前防災（予防）対策の推進
  - ② 浸水被害を防いだ治水事業
  - ③ ダムの事前放流の実施
  - ④ 土石流を防いだ砂防堰堤
  - ⑤ 道路の防災対策
  - ⑥ 農地防災ダムによる水位低減効果
  - ⑦ 湛水被害の軽減効果
  - ⑧ ため池決壊・流出対策
  - ⑨ 河川や砂防施設に流出した土砂・流木等の撤去
- (2) 今回の災害を受けた対策 【環境生活部、県土整備部、農政部、林政部】
- ① 今回の土砂災害の検証
  - ② 今回の山地災害、流木災害の検証
  - ③ 浸水被害が発生した河川等の検証  
※バックウォーター現象、跳水現象
  - 新** ④ 頻発する異常気象への対応  
※適応復興への対応